

# いわみさわ

発行 同人地  
岩見沢駐  
編集 集  
司令 業務班  
司 業 務  
広 報

## 今月の行事

- 1日 元旦祝賀式
- 11日 家族等スキー教室
- 31日 新隊員入隊式
- 10日 スキー大会
- 20日 横雪地乗取訓練

# あけまして

# おめでとしう

# いざいませす



駐屯地の隊員諸君新年おめでとう。来年初めて雪国の正月を迎えた人も数多いと思ふが遙かに妙行殿たる雪の音の響いたちは格別で、敬しくも又、すがくし、新年である。昔流の成の教をきき言つて皆一っ歳をとった訳である。物の見方、考え方、言葉の使い方も、更に成長する年とするものができたら、隊員は更に別々、職務もまた格段の進歩がでるよ、う、に、目、心、う、互に智力気力体力を伸ばし、ぼつて日本一の駐屯地を目標に頑張ろう。

### 「人間形成の年」

この世に生を受けて四回目の年男になる私は、人生五十年論でいえばすでに人生の末期であるが、人生七十年論でいえばまだまだ壮年期である。いずれにせよ私はまだまだ戦後の若い人達に負けない気持で一杯である。さて、今年は何にありべきかと考えて見た。北の防人としての職務と、私生活の調和のとれた年にしたいた気持である。自衛隊に身を投じて二十七年目

### 「飛べ！おれの年」

今年は一四才、入隊後五年を経て年男を迎えました。高校を卒業して世間知らずのまま五年間を過しましたが、初めのうちの不安も消えて、昨年陸候試験に合格、この手配が掲載される頃は三等陸曹の輝やかしい階級章を付けていることでしょう。ともあれ、昨年は陸曹候補生に指定されたことにより、その教育を通じて大変勉強させていたたきました。「叩けば響く人間になれ私の助教がよく口にし、影響を受け九言葉です。今年はおれの年、三曹を拝命して益々「叩けば響く人間」になるために、大きく飛躍したいと欲張つていきます。(三三五施中 猪田 厚)

、あと二年少々で停年であるが残り二年間も悔いのないよう、国家国民のために、自分の能力の限り国民の負託に応えたいと思つている。私生活では趣味をのばし、今年特に人間形成の意味で、詩吟を始めようと決心している。と、同時に自分の趣味である将棋、銃剣道そして居合道を併せて、昨年以上に充実させ、不撓不屈の精神を養成したいと思つている。武道で崇拜する佐々木十段先生は、七十才を過ぎてなお、強じんな体力と精神力で、若い人達を指導し鍛えておられる姿に接して、私も及ばずながらもそんな先生に一步でも近づきたいと思つている。年男を契機に、大きくステップしようと思つた決意した次第である。(業務隊 山本 吉枝)

「酒がうまい！」  
「酒がうまい！」  
今年の酒はうまい！  
今年も業務処理はもちろん、胸芸にもミを入れて頑張りたい一年です。(三三六中 北野 一年)

「社会人としての自覚を」  
私は、成人式というものは一つの人生の区切りのように思っています。自衛隊においては、入隊と同時に一人、一社会人として教育されますので、あまり実感はないように思えます。フツと振り返つて考えてみるとこの二十一年間、自分は何をして来たのか。もし、六十才まで生きるとしても、人生の三分の一は終つてることになります。若い時なら何となく過ぎて行く日々があつてもいいでしょう。でも、これから先五年、十年後と、一日一日を大切に生きてゆかなければならないと思ひます。成人式によつて一つの区切りをつけ、新しい人生に向つて努力、成長しなければならぬ時だと思つていきます。(三三五中 中谷 護)

### 「勝つための戦いの年」

太平洋戦争の年に生れ、幸いにも四回目の巳年を迎えました。蛇は脱皮することに成長しますが、私はどうか、と、考えて見れば、顔が赤らむ思いがします。まだまだ若いと思つて居るうちに、頼のシワは教を増し、頭髪は霜を置き、人生はこれでよいのか、とあせりを感じます。そこで、年男になつた今年を契機に、心機一転、人生の出をおしを図り、過去をふり返つたときに「オレは自衛官としてこう生きて」と、胸をはつて誰にでも話せるよめになりたいたいと思ひます。出直しの初年を期して、「初心にかえる」を今年の目標にしました。日常の訓練・勤務あるいは生活全てに、再出発の覚悟です。と



「プロ根性に徹す」

昨年ほどさまざまな出来事の多かつた年はなかつた。十二年間の学生生活に別れを告げ、社会人と化した。何事も最初が肝心といわれるように、私の社会人一年生としても、マイナスよりもプラスの多い所が良いだろうと判断してのことだつた。

入隊して九ヶ月。この九ヶ月は私にとつて最も有意義な期間といえそうである。その間に得たものは多かつた。最も大きなものとして体力の向上があげられる。体力のない自衛官は役に立たない。自衛隊の生活にもようやく馴れて、初めてのお正月を迎えるに当り、自衛官としてのプロ根性に専念して行きたいと思つています。正月早々一等陸士に昇任もしました。自衛官の道を選んだことを誇りにして、一歩一歩確実な前進を続けて行きます。

(三三五中 高橋 賢夫)

「あなたとわたし」

武山に入隊して、早くも十ヶ月が経ちました。初めは不安ばかりが先にたち、友もなく消極的になるばかりでした。教育が始まると同時に自然に友もでき、励まし合える仲間もできました。この六ヶ月に余る教育期間は、教育以外の多くのものを私に教えてくれました。

今年はいよいよ北海道のお正月を迎える私は、色々な意味をこめて北海道だなア、と、つくづく感じています。雪なんかすぐ消えるものと思つていましたが、根雪という言葉も知つたし、除雪がこんなに大変なものだとは思つても見ませんでした。北国の雪の生活も、自分が直面してはじめてそこに住む人達のことか判りました。今までの私は、人のしていることを見て、他人の立場を考へることとは少なかつたように思います。

初めて迎える北海道の冬に、他人の気持や立場を大切にすることを学んで行きたいと思つています。(三〇四ダ中 寺沢 源三)

「冬はホントにご用心」

酒・車・スピード・チョイ借り  
定員オーバー・車間距離  
追越し・追抜き・雪・氷  
無理酒・義理酒・ホロ酔い・宴会  
過労・宿酔・寝不足・徹マン  
スキー・飛び出し・老人・子供  
長距離・混雑・転覆・回転  
アブナイ アブナイ  
冬はホントにご用心

(山口モエ)

「絶対の無事故運転を！」

夢中で過ぎてきた九ヶ月間。今ホットと息ついて振り返つてみると、一生懸命前へ進むのみで自分をみつめる余裕すらない状態でした。

今年、あゝもしたい、こうもしたいと抱負はたくさんありますが、やはり、車両免許に取組んでみたいと思います。新聞等で毎日交通事故の記事を見ますが、加害者も被害者も大変なことになるわけですが、私が免許を取つたら絶対に事故は起さないと覚悟です。そして一万円・二万円と自衛隊の車で走つてみたいと思います。

今年には余裕が出て来るかどうか判りませんが、なくても良いと思います。何故つて昨年同様、元氣よく真つ直ぐに進めばいいのですから。(三三六中 浜井 守)

「成人式を  
迎えるにあつて」

二十才になつて最初に頭を浮んだことは、地域社会の一員になつたということです。周囲の人からは、一人の大人と見なされるだろうし、又、社会の一員になるということは、集団と個人の関係を正しくとらえていかなければなりません。

自分だけ無関心に、理想追求のためだけに団体生活を乱す状態はいきません。又、そんな事を考へると正直なところ不安です。しかし社会の一員になるには積極的に集団生活の中に溶け込んでいかなければなりません。集団生活に溶け

警務隊だより 岩見沢警務連絡班

おのどろいちゃいます



警功デース



初夢

込んでこそ一人の大人になると思っています。私はこの方向に努力を続けて行く覚悟です。(三〇四ダ中 長谷 実)

「今年こそは調理師免許を」

明けましておめでとー

ごさいます。

年末年始休暇を返上して、炊事場で頑張っている寺沢です。この機会に調理師免許を取り、あと半年位は炊事で頑張るつもりです。今年もよろしくお願ひします。(三三六中 寺沢 仁)

編集後記

明けました。一九七七年。とん地も適令期の二十四才。ますますやる気の旺んな年令。群はやつと二才。ホッパ、ステツブそして大きくジャンプへとつないで欲しい。小紙も発刊以来、諸氏の温い庇護により、ようやく二年目を迎えました。この辺で乳離れを自指したいところです。洗み易く、親しまれる機械紙にしたいと努力しています。昨年以上に「いわみざわ」を可愛がつて下さい。今年もどうぞよろしくお願ひします。(堀田)